

令和 5 年度 第 1 回矢吹町学校規模適正化検討委員会 議事要旨

会議名：令和 5 年度 第 1 回矢吹町学校規模適正化検討委員会

日時：令和 5 年 6 月 13 日（火）18:15～20:00

場所：矢吹町役場 2 階 大会議室

参加者：委員 22 名（会長、副会長含む）

【以下、議事要旨】

1 開会	
教育長	今年度、三神幼稚園の保護者代表の遠藤寛治様と矢吹小学校の深谷麻紀校長先生 2 名が委嘱替えにより新たに委員となられたため、委嘱状を交付する。
事務局	委員会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により、本日、出席者が過半数を超えたため会議は成立することを報告する。

2 教育長あいさつ	
教育長	昨年度策定した適正規模・適正配置の基本方針に基づき、今年度は適正規模・適正配置の具体の姿を示すこととなる。委員の皆様には、園児のために様々な視点からご審議いただきたい。

3 委員紹介・事務局紹介	
事務局	委員、事務局、トーマツを紹介。

4 会長・副会長あいさつ	
会長	昨年度は約半年間で検討委員会を全体会 2 回、幼稚園部会 3 回実施し、基本方針を策定した。昨年度は町立幼稚園の適正規模・適正配置の方向性を示したが、今年度は具体的な計画について議論を行うこととなる。よろしく申し上げます。
副会長	人口減少社会における幼児期の教育保育施設の可能性というテーマでお話する機会が多いが、私立幼稚園は今後 5～10 年存続させられるかという危機感を持って検討を進めている。最新の社人研の将来推計では、前回の人口推計の想定を上回る勢いで人口減少が加速していることが分かった。幼稚園・保育園は、自らの園が存続できるか否かではなく、地域一体として考えなければならない。今年 4 月にこども家庭庁が発足し、こども基本法が施行されたが、そのなかでは大人ではなく子

	<p>どもの都合・権利（保育を受けられる権利）が示されているため、そういった観点も踏まえ考えなければならない。町民の皆様が納得し、何よりも子どもたちが喜んで居続けられる地域を守れるような検討を行いたいと考えている。</p>
--	---

5 諮問	
教育長	教育長から会長に諮問を伝達。

6 協議（1）：諮問を受けた今後の取組みについて	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3～5に基づき、委員会、会議構成、会議の公開について説明 ・資料2及び別冊資料11に基づき、基本方針と今年度の諮問内容について説明 ・資料6,7に基づき、今年度の会議等スケジュールについて説明
会長	質問等ありますか。
委員	説明会は今年3月にすでに1回実施したということで間違いないか。
事務局	今年3月にKOKOTTOで住民説明会を実施したが、参加者が12名と少なかった。地域住民のご理解を深めていただくためにも、今年度は地区別に説明会を実施する予定である。
委員	前回の説明会では参加者が少なかったという反省を踏まえて周知方法を見直しているか。
事務局	HP、メール等で周知を図るとともに、直接の声掛けなどを通じて募集を行っている。
委員	これから更なる周知を進めるということだが、スケジュール的に間に合うのか。また、過去の実施内容の紹介やこれまでいただいたご意見をお示しするなどの工夫が必要ではないか。
事務局	周知がうまくいっていない状況ではあるが、準備を進める時間も限られている。これは検討段階であるが、防災無線を使用した周知も考えている。
委員	幼稚園と小学校は同時的に検討を行うべきと考えるが、小学校は今年度の検討の対象から外れたのか。
事務局	幼稚園と同様に小学校についても老朽化が進んでいるため、皆様からご意見をいただきつつ、慎重に検討を進めるつもりである。現在は児童数の将来推計、改修・更新に係る費用の試算、活用可能性のある交付金・補助金の調査等を進めているところである。
会長	検討を進めるにあたっての基礎づくりを行っていることを認識した。

委員	8月下旬に「先進地視察」とあるが、「先進地」とは既に統廃合した、という意味か。すなわち、今年度の検討は統廃合ありきと考えるべきかを確認させていただきたい。
事務局	統廃合の実施有無は確定したのではなく、結論ありきではない。今後議論を重ねて検討を行う。ただし「先進地」という文言については検討させていただく。

6 協議2：矢吹幼稚園・町立幼稚園の現状と将来予測について	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	資料9に基づき幼稚園園児数及び小学校児童数の将来推計結果を説明 幼稚園：コーホート変化率法の推計結果が出れば第一回専門部会などで説明を行う
委員	幼稚園の園児数が前回推計から変化している。変化した内容と理由を教えていただきたい。
事務局	令和5年度の人口が確定したため、これを推計に反映した結果、推計結果が変化することとなった。出生率の改善といった理由はない。また、将来人口推計については人口推計で一般的に用いられるコーホート変化率法により長期間で推計を見直すことを想定している。
副会長	幼稚園園児数の推計だけでなく、0～2歳及び私立保育園等の子どもの人口についても推計を行っていただきたい。

6 協議3：アンケートの実施内容について	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	資料5に基づき説明
委員	問5は園の運営形態を検討するための設問であれば、設問の「幼稚園の再配置（統合等）を行う場合」という文言は誤解を招く表現となるのではないか。
事務局	ご指摘のとおり。修正させていただく。
副会長	0～2歳の人数規模により、3～5歳の人数規模が決まる。具体的には、0～2歳が30人の規模であれば、3～5歳を合わせて70～80人の規模となる。0～2歳が45人の規模であれば、3～5歳を合わせて120人の規模となる。その地域で0～2歳で就園していないお子さんが何人いるかでその地域の3～5歳の子どもの数が決まってくる。これが先ほど述べた0～2歳の人口推計が必要な理由である。「3～5歳児だけでなく、0～2歳児も預けられる」という設問は重要であるため、その横に「認定こども園化保育園化」という文言を追加してはどうか。

	また、参考までに、0～2歳の送迎にはバスは認められておらず、保護者が送迎することとなる。0～2歳を保育する機能を持つと、3～5歳のバス利用が減少する傾向にあり、スクールバスを廃止する例もある。
委員	この検討委員会では、町立幼稚園ではなく保育園や認定こども園への変更も検討の対象となるのか。
事務局	統廃合を進める場合には、認定こども園化をはじめ様々な形態も検討の対象となる。
副会長	問5、入園条件の制約がない、幼稚園であれば3～5歳で入園条件の制約がなくても入れるが、0～2歳の保育に関しては国の制度が変わらない限り入園条件の制約は外せない。
事務局	問5に関してはその点も踏まえて改めて検討させていただく。
会長	アンケートの内容は基本方針に基づく内容であるものの、再配置に反対する方がどう考えているかといった設問があってもよいのではないかと。 また、複数回答の設問について「3つまで選択」と制限している意図は何か。
事務局	要望をお聞きする設問については意見を絞っていただきたいため、3つまでに制限させていただいた。ただし、不安に感じる点といった要望をお聞きするものではない設問については選択できる数を制限していない。
副会長	アンケート項目は保護者からの視点しかないように思われるため、問4と問6については子どもの立場に立って回答いただくようにしてはどうか。
委員	ご意見を踏まえ見直しをさせていただく。
会長	アンケート項目は必須回答か。無回答でもよいとしてはどうか。 また、修正したアンケートは委員が確認した後に発出という認識でよいか。
事務局	いただいたご意見を踏まえ修正を行い、委員の皆様にご確認いただいた後に発出する。

6 協議4：その他について	
会長	その他意見等ありますか。
事務局	説明会及び幼稚園視察に係る内容について、事前に送付のあった資料と資料8で齟齬があるが、いずれが正しいか。
事務局	本日配付の資料8が正しい。
委員	今年3月の説明会では、三神幼稚園の地域住民の総意としてご意見を

	上げさせていただいた。次回の地区別説明会では、それに対する回答をいただきたいと考えている。
事務局	いただいたご意見を踏まえて回答したい。
委員	住民としては統廃合前提で検討を進めているのではと心配している。園児が少人数になっても何とか存続させる道を考えてほしい。
副会長	切実なご意見であり、それぞれの地域の子育て世帯のことを考えて検討を行わなければならない。たとえば、0～2歳は個別にどのように寄り添うかが大事になり、3～5歳は集団のなかで他人とのかかわりから豊かに学ぶことが重要となる。園児の人数が少なくなるということは学びが貧しくなるという見方もできる。したがって、3～5歳は園の統合を行い、0～2歳はサテライトで保育機能を持てば、地域のなかで子育て世帯に寄り添う機能を維持することができるのではないかと。統合に進むとしても、地域に残していけるような方法を考える必要がある。
委員	反対の割合はどの程度で、どのような理由で反対しているのかを把握して、可能な限り不安要素はクリアしなければならないと考える。反対意見は受け止めたうえで、方向性をすり合わせつつ進める必要がある。
委員	諮問に対する答申は行う必要があるものの、統合ありきで検討が進むということは避けたい。
事務局	不安・疑問を解決するため、委員の皆様に議論いただき、町としてできることを検討したうえで、住民にも説明していきたい。
委員	全体会は幼稚園部会で議論した結果の共有となっているように思われるが、全体会だけに出席している委員としては情報共有いただく場ではないか。全体会ではグループに分かれ、グループワークをしたほうがいいのか
会長	ご意見等ありますか。
委員	なし。

7 閉会	
事務局	7/14に幼稚園視察、7/18に第1回専門部会を予定している。詳細は追ってご連絡する。本日はありがとうございました。

以上